

～野良猫と平和に共生出来る社会を目指して～

# 芦屋市も推進するTNR活動レポート

(TNR活動とは:野良猫を捕まえて+不妊手術と耳カット+元の場所にリリースすること)

今年度(平成21年度)4月から、芦屋市では野良猫のTNR活動に対する助成金100万円が芦屋動物愛護協会に交付されています。捕獲と助成金の申し込みについては、市役所環境課(38-2050)が窓口になっていますが、まだご存じない市民の方が多いかもしれません。

野良猫問題の相談とTNRの申し込みのあったところから、順次現場を確認して捕獲と手術を行って参りました。その結果、12月末の時点で早くも市の助成金を使い切ってしまいましたが、捕獲依頼は今も次々に来ており、手術費用の捻出に苦労をしているところです。

09.4.1～10.1.31	メス	オス	合計
TNR実施頭数	75頭	72頭	147頭
助成金交付頭数	63頭	46頭	109頭

今年度のTNRで捕獲頭数が多かった地域は、町別で統計をとったデータで見ると山手側の町で26頭、浜側の町で同じく26頭、その他10頭～20頭を手術した地区が4町ほど続いており、市の山手方面から南芦屋浜に至るまで、東西南北のさまざまな地域で繁殖しているのが分かります。

頭数は多いけれど既に手術の済んでいる猫ばかりが居る所、個人的に或いは他団体が手術をしている所もありますので、今回の統計で上がった数字が、現在生息している猫の数と一致するものではありません。

手術をしていない猫が沢山居るといふ噂は入って来ても、具体的な捕獲依頼が無いために後回しになり手付かずになっている地域もまだまだ沢山あります。(餌を与えている人からの捕獲依頼が無いと、捕獲が難しいケースもあるため)

手術費用を個人で負担して下さったかた、町内会で予算組みをして下さった地域には、助成金を交付せずに手術をすることが出来ました。また、市外在住者からの依頼や捕獲希望の猫が人馴れしていたために里親譲渡を行った場合など、助成金交付の条件外で手術を行ったケースも数件ありました。

市の助成金が底をついてしまったため、当協会の動物愛護基金から手術費用の助成をしたケースも数件あります。芦屋市から助成金が交付されたことは大変喜ばしいことですが、まだまだ費用は不足しています。これは、飼い猫への不妊手術と完全室内飼いがまだ十分に普及していないこと、捨て猫という犯罪行為があること、野良猫にただ餌を与えるだけの無責任な人達の存在などが原因と言えるでしょうか。猫が可哀想だから…という優しさや愛情だけでなく、近隣との関係や環境のことも考えてマナーを守り責任を持って対応して頂きたいと思えます。

捕獲現場でのトラブルや近隣住民からの苦情も無く、このように滞りなく捕獲と手術を行うことが出来ましたのは、市民の皆様や獣医師の先生方のご理解とご協力があったお陰であると心から感謝致しております。安い価格で野良猫の手術を気持ちよく引き受けて下さるボランティア精神豊かな獣医師の先生方が、今後少しずつでも増えていくことを大いに期待しています。

来年度からも、このTNR活動へのご支援をよろしくお願い致します。

市民の皆様へのお願いです!

野外で暮らす野良猫の寿命は飼い猫よりもかなり短く、3年～5年前後というのが一般的で、手術さえ完璧に済ませておけば、3年位でかなりの数が減少するようなケースも見受けられます。

糞尿の被害で深刻に悩んでおられる方も多いことと思いますが、手術をして繁殖させなければ、間違いなく数は減っていきますので今しばらくの間は長い目で見て頂き野良猫との平和的共存を図って頂きますよう、ご協力のほどよろしくお願い致します。